

Chiba Tech News

No_705

2026年4月号

千葉工業大学 入試広報部

〒275-0016

千葉県習志野市津田沼2丁目17番1号

TEL 047(478)0222 FAX 047(478)3344



令和8年度入学式 次代を担う2,846人が入学

春到来の陽気となった4月5日、令和8年度千葉工業大学入学式が幕張メッセ・イベントホール(千葉市美浜区)で行われた。今年度の新入生は工学部6学科873人、創造工学部3学科442人、先進工学部3学科387人、情報変革科学部3学科419人、未来変革科学部2学科228人、学部生計2,349人、大学院497人(修士課程6研究科479人、博士後期課程4研究科18人)の総勢2,846人。



多くの新入生が一堂に会した幕張メッセ・イベントホール

目的を持ち学んでほしい 伊藤学長の式辞

例年、入学式を執り行う幕張メッセ・イベントホール。そのアリーナ席には、緊張の面持ちの新入生が一堂に会し、2・3階席は保護者で埋め尽くされた。午前10時30分開始の入学式に先立ち、吹奏楽部による華やかな演奏が行われ、新入生たちの門出を彩った。

開会のアナウンスを皮切りに、まず伊藤穰一学長が「AIが急速に進化し、社会や働き方、コミュニケーションのあり方が大きく変わりつつある」と述べたうえで、「重要なのは何のために学ぶのかという目的を持つこと」と強調。授業に加え部活動やサークルなど多様な経験を通して、建学の精神である『世界文化に技術で貢献する』こと

につながる学びを深めてほしいと語った。

続いて瀬戸熊修理事長から祝辞が贈られた。「夢を実現するために身につけてほしい力」として「課題解決に挑む力」と「継続的に学ぶ力」の二つを挙げ、専門知識を社会に生かす広い視野と挑戦心、そして変化の激しい時代に対応するために生涯にわたり学び続ける姿勢の重要性を説いた。(学長式辞および理事長祝辞は2ページに掲載)

主体的に学び続ける 新入生宣誓

次に在学学生を代表して鈴木稜斗さん(情報通信システム工学科4年)が壇上に立ち、歓迎の辞を述べた。「学生生活で印象に残っているのは、講義で学

んだ理論と実験結果が必ずしも一致しないことを知ったことです。その原因を考え続ける中で支えとなったのが、自分とは考え方や価値観の異なる友人の存在です。互いの意見を持ち寄り、議論を重ねる中で、自分一人では気づくことのできなかった視点に触れることができました。その結果、問題を多角的に捉える力が身につき、解決への糸口を見出すことができました。こうした出会いや交流こそが成長につながります」と、自身の経験から大学での学びに対する姿勢や友人の大切さを伝えた。

数々のお祝いの言葉に応え、新入生を代表して大久保祐生さん(情報工学科・帯広大谷高等学校)が宣誓。「大学という新しいステージにおいて、私たちは専門的な知識と技術の修得に努めるとともに、自ら課題を見出し、主体的に学び続ける姿勢を培っていきます。そして、社会に存在する諸問題に対し、技術をもってその解決に貢献できる人材となることを目指します。また、私たち一人ひとりが、さまざまな価値観に触れ、広い視野と柔軟な思考をもって自己の成長に努めていきます」と決意を述べた。

賢く野性的であれ 人類学者山極氏が講演

入学式に続いて前京都大学総長で人類学者(審議役・元特別教授)の山極壽一氏による基調講演が行われた。



宣誓の言葉を述べる大久保さん



お祝いの言葉で新入生を迎える鈴木さん

山極氏は、ゴリラ研究の第一人者として知られ、2014年から6年間京都大学総長を務めた。「ゴリラに学んだ知恵。新時代を生きる君たちへ」と題して、賢く野性的に生きることの重要性を説きながら、挑戦を恐れず自分らしく歩むよう新入生にエールを送った。(講演内容については3ページに掲載)

新習志野キャンパスで ガイダンス サークル博も開催

入学式後には、各種ガイダンスに参加するため、新入生および保護者らは新習志野キャンパスへ移動し、式典前に試食のため保護者へ配布された学生食堂で利用できる無料のランチ券を手にとり、多くの来場者が定食やカレーなど多彩なメニューを楽しみ、食堂はにぎわいを見せた。

その後、保護者には大学生生活の概要や教育方針、学生支援体制などを紹介するガイダンスが行われ、今後の学生生活への理解を深める機会となった。また、新入生には、奨学金や通学定期などに関する各種相談ブースが設けられ、履修や学生生活に関する不安や疑問に応じる体制が整えられた。

あわせて、学友会・体育会・文化会の学生3会によるサークル博覧会も開催され、各団体がデモンストレーションや積極的な呼びかけを行うなど、キャンパスは新入生を歓迎する熱気に包まれた。

[CONTENT]

【P2-3】令和8年度入学式 伊藤穰一学長 式辞/瀬戸熊 修理事長 祝辞/基調講演 山極 壽一氏/入学式スナップ/新入生インタビュー

【P4】天文学研究センターが宇宙の常識を覆す大発見/地球学研究センター

が1万年前の遺跡の地下構造を解明
【P5】先生方のご活躍/就職・進路支援便り

【P6-7】塩見さん「挑戦賞」/成田さん「造形賞」/牧野さん「優秀講演賞」/小坂さん「Student Paper Award」

/河地さん「学生奨励賞」/大部さん「最優秀賞」/奥田さん「優秀賞(特別)」/猪狩さん「学術奨励賞」/平川さん「第32回学術奨励講演賞」/坂本さん「奨励賞・修士論文賞」/池田さん「奨励賞」/小堀さん「優秀賞」/高

橋さん「奨励賞」/長根さん「努力賞」/深澤さん「第31回 学生優秀発表賞」/中村さん「奨学賞」

【P8】令和7年度 学位記授与式を挙行/3月のできごと/5月のスケジュール

伊藤穰一学長 式辞

生涯を通じて「学ぶ」環境をつかってほしい



今、まさに平和な時代から戦争・紛争の時代に移っています。一方、科学技術においてはAIが急速な進化を遂げ、変革の時代に突入しています。歴史を振り返ると戦争の時代はさまざまなイノベーションが起こり、科学技術が大きな役割を果たしてきました。特にAIは私たちの働き方やコミュニケーションのあり方まで変えようとしています。そんな状況の中で、本学ほどAIを重視し社会に役立てようと考えている大学は多くありません。

このような大転換期において、授業で物事を理解してこなすことだけでなく、何のために学ぶのかという目的を持ち、自分の内発的な動機で学び続けることが大切になってきています。例えばAIについてもソフトウェア開発を学ぶだけでなく、AIで何をするのかという目的を持つことが重要です。また大学では授業のみならず部活やサークルなどさまざまな経験をしてください。その経験が本学の建学の理念である「世界文化に技術で貢献する」ことにつながるはずです。

社会に出た後も学び続けることが不可欠ですが、その時に大切になるのが友人とのネットワークや先生とのつながりです。千



葉工業大学で技術や理論を学び、生涯を通じて学んでいく環境をつくり世界に羽ばたくことを祈念して私の式辞といたします。

緊張した面持ちで式に臨む新入生たち

瀬戸熊 修理事長 祝辞

「夢」を実現する2つの力を育む



本学の教育・研究に対する評価は年々高まり、国際的ネットワークを最大限に生かし、AI・半導体・宇宙など人類の未来を左右する最先端の研究開発分野において世界をけん引しています。

このような目覚ましい活動の背景には、創立当初から受け継がれてきた「世界文化に技術で貢献する」という揺るぎない建学の精神があります。この理念のもと、私たちは常に時代の先駆者として技術革新の「風」を巻き起こしてきました。皆さんにも建学の精神を胸に刻み込んでいただき、社会の課題に正面から向き合い、未来を創造する担い手となることを期待しています。

そんな皆さんに「夢」を実現するために意識していただきたいことが2つあります。1つ目は「課題解決に挑む力」を養うことです。これは、これまでの価値観や専門知識・技術力にとどまらず、それらを社会に生かす広い視野や、地球環境の持続可能性を見据えた倫理観、新たな価値観を創造しようとする挑戦心によって培われます。2つ目は「継続的に学ぶ力」です。AIやデジタル技術が急速に発展し、知識の更新が加速する現代において、新しい技術や知見を柔軟に受け入れながら生涯にわたり学び続けることで、これまで経験したことがない変化にも柔軟に対応できる力が身についていきます。本学には優秀な教授陣、何事にも熱心な在学生、そして10万人を超えるOB・OGがいます。多種多様な分野で活躍する先輩方は、皆さんにとって力強い指針となることでしょう。皆さんの学生生活が光り輝く栄光に満ちたものとなることを心より祈念し、私の祝辞といたします。

学長式辞、理事長祝辞の全文はこちら



新入生インタビュー



機械工学科
N.Sさん

物理学の応用である「流体力学」をしっかり学んで、造船の知識や技術に役立てたい。卒業後は造船会社に就職したいと思っています。



宇宙・半導体工学科
T.Mさん

小さい頃から宇宙や天文に興味があって、「ここだ!」と思いました。地球と異なる過酷な環境下でも対応できる材料開発を試みたいのです。



先端材料工学科
O.Rさん

文房具の軸に興味があり、高校の先生に相談したら、軸を材料の分野から研究できるこの学科を進められました。夢の実現に向けて頑張ります。



電気電子工学科
S.Sさん

将来はものづくりに関わりたくて、汎用性の高いこの学科に進学しました。理論と実践の両方から学んでプロフェッショナルとして活躍したいです。



応用化学科
T.Nさん

コスメに興味があったので、将来は化粧品会社で働くのが夢。多くの人から喜ばれる化粧品開発をするため応用化学の知識を深めたいです。



建築学科
O.Aさん

6月と8月のオープンキャンパスで模型を見て、自分も将来、建築関係の仕事がしてみたいと思い入学しました。模型をつくるのが楽しみです。

基調講演

ゴリラに学んだ知恵。新時代を生きる君たちへ



山極 壽一氏 人類学者
前京都大学総長
現総合地球環境学研究所所長

長年にわたりゴリラと歩いて学んだことを元に言葉を贈りたいと思います。私は京都大学の総長時代に「大学は世界と社会に通じる窓である」という標語を創りました。英語でいう「WINDOW」です。そして最初の「W」をとって「WILD and WISE」という言葉を掲げ、「賢く野性的であれ」と宣言をしました。ここでいう「野性的」は「精神的に野生に戻れ」という意味です。これから君たちは

たくさん挫折するでしょう。しかし、トラブルの時こそ自分の力を発揮できるチャンスです。そして直感を信じてください。あるいは孤独になっても自分を見つめるいい機会だと思ってください。そして自分と合わない人こそタッグを組んで新しいことに挑戦してください。

「賢く野性的である」というのは、自分が見知らないことに関しても高い好奇心を持つこと。他の人でもできることではなく、

自分しかできないことを考えること。言葉ではなく行為によって示すこと。それが人と人を結び付ける原動力となります。そして冒険を恐れずにチャレンジしてください。

皆さんは千葉工業大学という科学技術を世界に生かしていくことを学ぶ大学でスタートを切ります。不確かな未来にぜひ学びの力を持って挑戦していただきたいと思います。



入試広報部で準備した小道具も大活躍



新しい門出に記念撮影



満開の桜に彩られた新習志野キャンパス

Chiba Techへようこそ!

入学式スナップ



吹奏楽部の演奏で来場者をお迎え



みんなで記念に「ハイ!ポーズ」



大盛況のサークル博



デザイン科学科
S.K

「ものづくり」という視点から、理工系でデザインを学べる千葉工業大学に入学。サークル活動など学び以外でも思いきり楽しむ4年間にしたいです。



未来ロボティクス学科
U.Sさん

1年次から基礎的なプログラミングやロボット製作ができるので、身につけた技術を使ってロボットコンテストにも挑戦してみたいです。



生命科学科
S.Kさん

遺伝工学に興味があり、大学のパンフレットを見て生命科学科への進学を決めました。多くの友人をつくって充実した4年間にしたいです。



情報工学科
H.Rさん

情報工学科に進学したのは情報機器の開発に必要なハードとソフトの両方を学べると考えたから。スマートグラスの開発にチャレンジしたいです。



認知情報科学科
H.Hさん

この学科で学んで、障害のある方にとっても快適な生活ができるようなサポートを心理學も合わせたプログラミングの視点から実現したいです。



デジタル変革科学科
K.Yさん

高校時代にできなかったことにいろいろチャレンジしたいです。サークル活動やアルバイトなどを経験して自分の世界を広げたいです。

天文学研究センターが宇宙の常識を覆す大発見 100億光年先の「ブラックホールの活動停止」を捉える

天文学研究センターの諸隈智貴主席研究員らの研究グループは、約100億光年先にある銀河の中心で、超巨大ブラックホールの明るさがわずか20年ほどで20分の1にまで急激に暗くなるという、極めて珍しい現象を発見した。この成果は、これまでの宇宙の常識を塗り替えるものとして、日本天文学会の国際学術誌(PASJ)の表紙を飾るなど、大きな注目を集めている。

多くの銀河の中心には、太陽の数億倍から数十億倍もの質量を持つ「超巨大ブラックホール」が存在する。周囲のガスを飲み込む際、摩擦熱によって凄まじい光を放ち、銀河全体よりも明るく輝くことがある(活動銀河核)。これまでは、こうしたブラックホールの活動状態は数万年以上かけてゆっくり変化すると考えられてきた。しかし今回の観測により、わずか数年(本

天体においては約7年相当)という驚くべきスピードで、活動が劇的に弱まりうるという事実が突き付けられたのである。

研究チームが、すばる望遠鏡をはじめとする世界中の望遠鏡データを詳細に解析した結果、この急激な減光は、ブラックホールへの「エサ」となるガスの流入量が50分の1以下にまで激減したことが原因である可能性が高いと結論付けた。まるで、激しく燃え盛っていた巨大な炎に送られる燃料が、一気に絞られたような状態である。本研究では近年の可視光天文学において進展が著しい広域サーベイ観測により、このような稀な現象の発見に至った。

諸隈主席研究員は、「今後さらに同様の天体を見つけ、超巨大ブラックホールの活動がどのように止まったり再開したりするのか、その謎を解き明かしていきたい」と意気込みを語る。

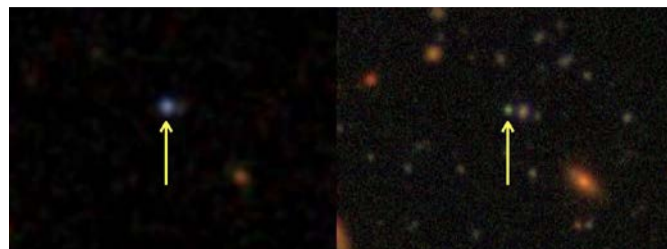


図1: 本天体(黄色矢印)のSDSS画像(左; 2002年頃取得)とすばる望遠鏡HSC画像(右; 2018年頃取得)。いずれも可視光のデータを用いた3色合成画像。HSC画像の方が高感度なため、多くの暗い天体が検出されている。それら周りの天体と比較すると、本天体が大きな減光を示していることがわかる。

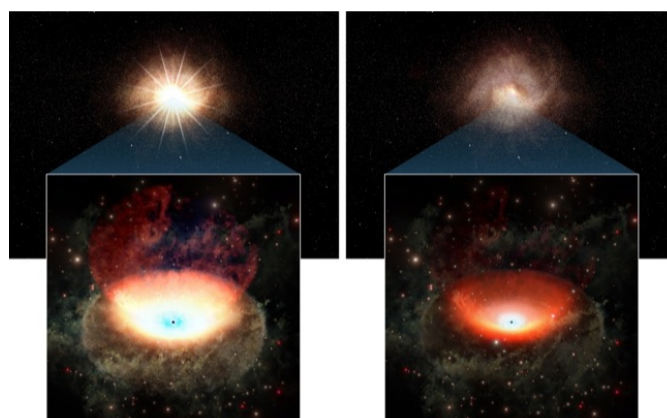


図2: 明るい時期(左)と暗くなった時期(右)との天体の想像図の比較。上が銀河全体、下が中心部の超巨大ブラックホールまわりの拡大図。明るい時期は超巨大ブラックホール(中心部の黒い領域)周りの降着円盤(青白い部分)やその周辺のダスト等で構成されるトーラス状の構造が明るく輝いているのに対して、超巨大ブラックホールへのガス流入が少なくなると、全体が暗くなる。

地球学研究センター、1万年前の遺跡の地下構造を解明 トルコの「石の丘」遺跡でドローン・地中探査を駆使 新石器時代社会の多様性を示す成果

地球学研究センターの多田賢弘研究員、森脇涼太研究員、下釜和也研究員らの研究グループは、トルコ南東部に位置するハルベトスワン・テペシ遺跡において、地面を掘らずに当時の集落構造を解明することに成功した。本研究成果は2026年2月20日(金)、国際的な考

古学専門誌「Archaeological Prospection」に掲載された。

トルコ南東部には、世界遺産「ギョベクリテペ」に代表される世界最古級の巨石建築群が点在している。農業が始まるよりも前の時代に狩猟採集民が築いたこれらの遺跡は「石の丘(タシュ・テペレル)」と呼ばれ、これまでは

どれも似たような構造だと考えられてきた。しかし、今回の調査により、遺跡ごとに建物の配置や規模が大きく異なる「多様性」があったことが判明し、当時の社会構造の理解に新たな光を当てる成果となった。発掘調査は文化財保護の観点から制約が大きく、広大な遺跡の全体像を把握することは容易ではない。そ

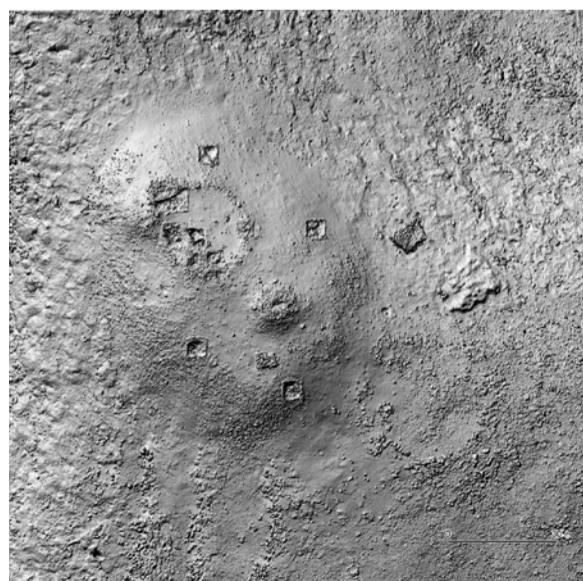


図1: 空中写真測量により作成した遺跡の地形モデル(地形陰影図)

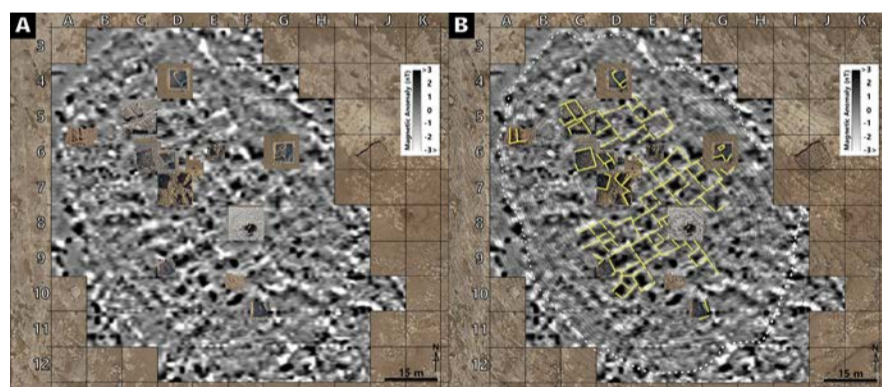


図2: ハルベトスワン・テペシ遺跡の地中磁気探査の結果

ここで研究チームは、ドローンによる空中写真測量で地形を精密に把握したうえで、地下の磁気特性の違いを検出する「地中磁気探査」と、電波の反射を利用する「地中レーダー探査」を組み合わせ、地下に埋もれた建築物の位置や形状を明らかにできる手法である。

調査の結果、同遺跡(面積約5,900㎡)の地下には長方形の建築物が壁を共有しながら密集して分布していることが判明した。一方、近隣の大規模遺跡に見られるような巨大な公共建築

物や広場は確認されなかった。研究チームはこの結果から、「石の丘」遺跡群には宗教・公共機能を持つ大規模遺跡と住居中心の小規模集落が混在しており、1万年前の社会がすでに役割の異なる複数の集落による複雑な地域社会を形成していた可能性を示唆している。

本遺跡の調査は、地球学研究センター、東京大学総合研究博物館、シャンルウルファ考古学博物館による日本・トルコ共同調査として2022年から進められており、現在も継続的な調査が進められている。

先生方のご活躍

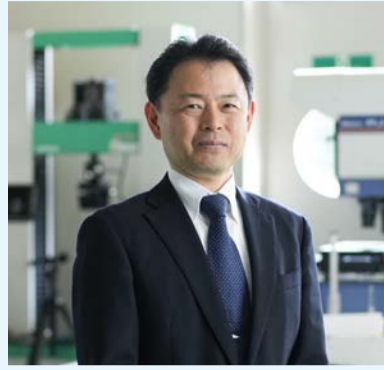


(写真:右)

たじま のりゆき
田島 則行 教授

建築学科

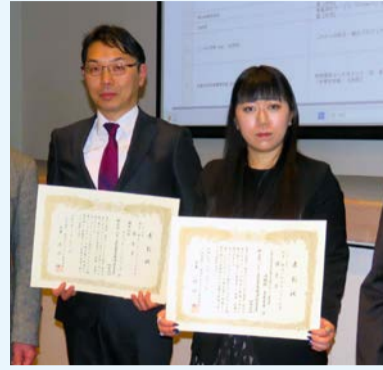
- 鹿島学術振興財団の研究助成において、特定テーマ研究助成に2023年、2024年の2年間に助成対象者に選定



たかはし よしひろ
高橋 芳弘 教授

機械工学科

- 公益社団法人立体駐車場工業会「勤続精励表彰」
- 一般社団法人日本福祉工学会の会長に就任
- 一般社団法人日本機械学会フェローに認定



あおき ゆうき
青木 友希 准教授

デザイン科学科

- 減災サステナブル技術協会「防災・減災×サステナブル大賞」
- ※写真は共同受賞したモノベエンジニアリング社長の物部長智氏(左)と青木准教授



むらかみ かずひと
村上 和仁 教授

生命科学科

- 日本水処理生物学会の会長に就任



就職・進路支援便り



全学生向け支援

新学期が始まりました。学部3年生には「キャリアデザイン3」の必修授業内で、修士1年生はオンデマンドで、進路およびインターンシップに関するガイダンスを実施します。ガイダンスでは、今後の進路や就職活動についての重要な内容をお伝えします。

学部3年生・修士1年生の中には、夏以降にインターンシップ参加を検討している学生も多いのではないのでしょうか。また、近い将来やってくる就職活動に向けて企業情報を知りたい、という他学年の学生も多いと思います。学生の皆さんが、業界や企業について企業の担当者から直接話を聞ける「学内オープン・カンパニー(5/14、5/16)」「モノづくり業界 まるわかりイベント(6/20)」を実施します。企業の個別ブースを訪問し、個社や業界に関する情報提供・PRなどを聞ける、貴重な機会です。大手有名企業も多数参加予定ですので、積極的に参加しましょう。詳細は、メール配信等でお知らせいたします。

※オープン・カンパニー：企業や大学等が主催する学生のキャリア形成支援であり、個社や業界に関する情報提供・PRを行うイベントや説明会。オープン・キャンパスの企業版ともいえるプログラムで、いわゆる採用活動とは異なる。

《 オープンカンパニー 》

日程	開催方法	参加予定企業
5/14(木) 午後のみ	OL	東京エレクトロン、SUBARU、三菱ケミカル、エイチ・アイ・エス、Sky、キヤノンシステムアンドサポート、アルプスアルパイン、山崎製パン、五洋建設、アルファシステムズ、ミネベアミツミ 他
5/16(土) 午前の部	対面	日本化薬、TDK、クボタ、太平洋セメント、東武電鉄グループ、LIXIL、日産自動車、損害保険ジャパン、シチズングループ、スズキ、日本コムシス 他
5/16(土) 午後の部	対面	オリエンタルランド、TOPPAN、富士電機、ジェイテクト、三菱重工業、ALSOK、明電舎、荏原製作所、レンゴー、セイコーエプソン、王子マテリア 他
予 約		就職システムの支援行事予約

- ★オンラインは約25社、対面は各約15社が参加予定
参加企業詳細や実施場所・時間等は、決まり次第就職システム及びメール配信いたします。
- ★服装自由 ★開催方法：対面⇒学内対面(津田沼キャンパス)/OL⇒オンライン

4年生・修士2年生向け支援

この時期、各企業の採用活動が活発になっています。複数企業の選考を受けている学生も多いのではないのでしょうか。5月以降も、千葉工大生積極採用の企業が集まる「学内合同企業説明会」を実施します。詳細は決定次第メール配信等でお知らせします。

例年、学内説明会に参加し、内定に繋がった先輩がたくさんいます。活動中または未活動で企業を探している学生には、特に積極的な参加をお勧めします。過去に参加した学生からは、「様々な業界の企業が多く参加しており、業界研究や企業探しに困った際は是非参

加を勧めます」、「参加企業から、千葉工大生を積極的に採用したいとの思いを感じました。学内説明会で話すことで、見通しと就活への実感を持てた」等の感想が挙がっています。現在、多くの企業の求人が寄せられていますので、特に未内定やまだ十分に活動が出来ていない学生も、周りと比較して不安になったり諦めてしまったりする前に、まずは学科の先生方や就職・進路支援部に相談しましょう。

また、就職システムからの個別面談予約や、当日の相談枠もありますので、お気軽に就職・進路支援部までご相談ください。

受賞おめでとう



授与団体・受賞名称

一般社団法人
日本機械学会
低温度差スターリングエンジン
競技会・発表会
「挑戦賞」

低温度差
スターリングエンジン

しおみ こうへい
塩見 航平 さん

機械工学専攻修士1年

高橋芳弘研究室

受賞日
2025/12/14

詳細は
コチラ



授与団体・受賞名称

一般社団法人
日本機械学会
電磁式スターリングエンジン
競技会・発表会
「造形賞」

揺動型ディスプレイサーを
採用したスターリングエンジン
(パタパタくん初号機)

なりた さとし
成田 学司 さん

工学専攻博士後期2年

高橋芳弘研究室

受賞日
2025/12/14

詳細は
コチラ



授与団体・受賞名称

千葉県加工技術研究会
第28回大学等委員による
研究事例発表会
「優秀講演賞」

めっき処理多孔質焼結金属への
圧子押し込みによる
微小レンズ金型創成の検討

まきの しんご
牧野 慎吾 さん

機械工学専攻修士2年

瀧野日出雄研究室

受賞日
2026/3/1

詳細は
コチラ



授与団体・受賞名称

信号処理学会
(RISP)
「Student Paper Award」

Design of Load-Independent
Class- Φ_3 Oscillator Using
Particle Swarm Optimization

こさか あゆむ
小坂 歩 さん

電気電子工学科4年

魏秀欽研究室

受賞日
2026/3/2

詳細は
コチラ



授与団体・受賞名称

一般社団法人
情報処理学会
第88回全国大会
「学生奨励賞」

将棋AIにおける
GNNを用いた評価関数の
提案と評価

かわち ゆうま
河地 悠馬 さん

マネジメント工学専攻修士1年

新谷幸弘研究室

受賞日
2026/3/6

詳細は
コチラ



授与団体・受賞名称

日本海水学会
第17回
学生研究発表会
「最優秀賞」

水上沿面パルスパワー放電による
水中ヒドロキシラジカルの
生成効率に関する基礎的研究

おおぶ しょうた
大部 翔太 さん

応用化学専攻修士1年

矢沢勇樹研究室

受賞日
2026/3/6

詳細は
コチラ



授与団体・受賞名称

日本海水学会
第17回
学生研究発表会
「優秀賞(特別)」

NaCl水溶液中の
根菜植物細胞の浸透圧緩和に
及ぼすファインバブルの影響

おくだ かな
奥田 夏菜 さん

応用化学科4年

矢沢勇樹研究室

受賞日
2026/3/6

詳細は
コチラ



授与団体・受賞名称

一般社団法人
電子情報通信学会
2025年電子情報通信学会
総合大会
「学術奨励賞」

カードベース暗号における
整数コミットメントの
効率的な変換法

いがり れん
猪狩 紫雲 さん

情報科学専攻修士1年

駒野雄一研究室

受賞日
2026/3/11

詳細は
コチラ



ございます!



所属、学年は受賞当時のものです



授与団体・受賞名称

一般社団法人
表面技術協会
「第32回学術奨励講演賞」

電解硫酸で酸化した
GaNおよびSiCの表面状態

ひらかわ ようた
平川 陽大 さん

先端材料工学科4年

坂本幸弘研究室

受賞日
2026/3/11

詳細は
コチラ



授与団体・受賞名称

一般社団法人
日本建築仕上学会
「奨励賞・修士論文賞」

水槽に用いられる
ポリマーセメント系塗膜防水層の
ふくれ発生のメカニズムについて

さかもと かい
坂本 海 さん

建築学専攻修士2年

石原沙織研究室

受賞日
2026/3/11

詳細は
コチラ



授与団体・受賞名称

プロジェクト
マネジメント学会
2026年度
春季研究発表大会
「奨励賞」

ビジネス創成PBLにおける
生成AIの活用指針の提案

いけだ たくみ
池田 卓海 さん

マネジメント工学専攻修士2年

下村道夫研究室

受賞日
2026/3/12

詳細は
コチラ



授与団体・受賞名称

プロジェクト
マネジメント学会
2026年度
春季研究発表大会
「優秀賞」

経験的ソフトウェア
工学実験における人間活動の
LLM再現可能性の基礎検討

こぼり れい
小堀 令偉 さん

マネジメント工学専攻修士1年

下田篤研究室

受賞日
2026/3/12

詳細は
コチラ



授与団体・受賞名称

プロジェクト
マネジメント学会
2026年度
春季研究発表大会
「奨励賞」

仮想環境を用いたチームの
意思決定に対する感情知性と
心理的安全性の影響の基礎検討

たかはし けいと
高橋 啓斗 さん

マネジメント工学専攻修士1年

下田篤研究室

受賞日
2026/3/12

詳細は
コチラ



授与団体・受賞名称

プロジェクト
マネジメント学会
2026年度
春季研究発表大会
「努力賞」

就職活動における
計画駆動型・変化適応型志向の
組み合わせと心理的成果
-学生と入社3年以内の社会人の比較-

ながね あおい
長根 碧泉 さん

経営デザイン科学科2年

新谷幸弘研究室

受賞日
2026/3/12

詳細は
コチラ



授与団体・受賞名称

日本音響学会
第154回(2025年秋季)
研究発表会
「第31回 学生優秀発表賞」

歌唱における
母音の発声方法の違いが
音素長に与える影響

ふかさわ みく
深澤 実紅 さん

知能メディア工学専攻修士2年

竹本浩典研究室

受賞日
2026/3/18

詳細は
コチラ



授与団体・受賞名称

日本金属学会
・
日本鉄鋼協会
「奨学賞」

モード変換型
パルスマイクロ波プラズマCVD
によるダイヤモンド合成

なかむら ゆな
中村 優菜 さん

先端材料工学科4年

坂本幸弘研究室

受賞日
2026/3/22

詳細は
コチラ



令和7年度 学位記授与式を挙 2,578人が授与



令和7年度千葉工業大学学位記授与式が、3月22日(日)幕張メッセ・イベントホールにおいて挙行された。学士2,179人、修士394人、博士5人の計2,578人(内1,344人の卒業生にNFTによる電子の英文学位記を発行)が、それぞれの課程を修了し、新たな一步を踏み出した。卒業生5学部を代表して渋谷晃玖さん(応用化学科)、大学院博士前期課程・修士課程5研究科を代表して森陽兵さん(社会システム科学研究科マネジメント工学専攻)、大学院博士後期課程3研究科を代表して竹井慎登さん(工学研究科工学専攻)が登壇し、それぞれ学位記を授与されたほか、在学中に顕著な成果を挙げた学生の表彰が行われた。

理事長賞に風間翔英さん(プロジェクトマネジメント学科)、また、特に成績が優秀な学生に贈られる学長賞に小野颯馬さん(情報ネットワーク学科)と牧野航大(プロジェクトマネジメント学科)が選ばれた。

ほかにも優秀賞、PPA会長賞、同窓会会長賞、千葉県知事賞、千葉市大学市長賞として計22人が表彰された。

伊藤穰一学長による式辞、瀬戸熊修理理事長の祝辞に続き、在学生代表の尾崎心音さん(先端材料工学科3年)



が送辞を、卒業生代表の貝津杏咲さん(デザイン科学科)が答辞を述べ、感謝と決意に満ちた言葉で式典は締めくくられた。



学生表彰者



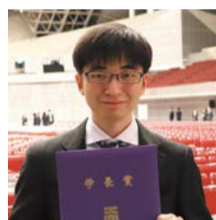
理事長賞



4年間、空手と学業の両立に取り組んできた中で、このような賞をいただけてとてもうれしく思います。ここまで続けてこられたのは、空手の根本師範、東山部長、そして鴻巣先生と研究室のメンバーの支えがあってこそです。支えがあってこそです。本当に感謝しています。今後は大学院に進学し、研究にも全力で取り組んでいきます。

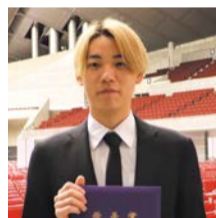
風間 翔英 プロジェクトマネジメント学科

学長賞



このような賞をいただけたとは思っておらず、とても驚いています。多胡先生に論文の添削やご指導をいただいたこと、また先輩方にたくさんのアドバイスをいただいたことが今回の成果につながりました。今後は大学院に進学し、研究をさらに深めていきたいと思っています。

小野 颯馬 情報ネットワーク学科



このような賞をいただけて、率直にとってもうれしいです。自分から積極的に行動してきたことに加えて、多くの先生方や周囲の方々を支えていただいたことが、この結果につながったと感じています。今後は就職しますが、自分らしく楽しく充実した人生を歩んでいきたいと思っています。

牧野 航大 プロジェクトマネジメント学科

優秀賞

伊藤 海聖【機械】	鶴見 哉太【機電】	今村 健太郎【材料】	石毛 亮乃介【電電】
富田 純弥【通信】	渋谷 晃玖【応化】	齋藤 僚規【建築】	大友 陽生【都市】
貝津 杏咲【デ科】	平田 祥隆【未口】	鈴木 育未【生命】	久保 碧唯【知能】
石井 佑輝【情報】	大塚 祐輝【経情】	吉田 和希【金融】	

同窓会会長賞

森戸 憲心【PM】

PPA会長賞

土屋 昂三【応化】

本山 小恭【金融】

千葉県知事賞

千葉市大学市長賞

風間 翔英【PM】

矢澤 彩子【デ科】

【機械】機械工学科 / 【機電】機械電子創成工学科 / 【材料】先端材料工学科 / 【電電】電気電子工学科
 【通信】情報通信システム工学科 / 【応化】応用化学科 / 【建築】建築学科 / 【都市】都市環境工学科
 【デ科】デザイン科学科 / 【未口】未来ロボティクス学科 / 【生命】生命科学科 / 【知能】知能メディア工学科
 【情報】情報工学科 / 【NS】情報ネットワーク学科 / 【経情】経営情報科学科 / 【PM】プロジェクトマネジメント学科 / 【金融】金融・経営リスク科学科



3月のできごと



- 3月2、5、11、25日 ○ 千葉工大生のための企業とのマッチング会(26卒対象)
- 3月4日 ○ 入学試験(C日程)
- 3月10日 ○ 大学院入試
- 3月16日～18日 ○ 学内オープンカンパニー
- 3月20日 ○ サイエンス広場新習志野公民館
- 3月22日 ○ 学位記授与式
- 3月28日、29日 ○ 学生寮入寮日
- 3月30日 ○ 入寮式、ひな祭りイベント
- 3月31日 ○ 千葉県立長生高校との包括連携協定締結
新入寮生歓迎会

5月のスケジュール

日	月	火	水	木	金	土
				開学記念振替日	1	2
憲法記念日		こどもの日				自学自習の日
3	4	5	6	7	8	9
	みどりの日		振替休日		開学記念日(平常授業)	
10	11	12	13	14	15	16
文化の祭典						
17	18	19	20	21	22	23
					23日～24日成田山詣行脚	
24	25	26	27	28	29	30